魔法学校シリーズ

1.　わたしが魔法学校に入学した訳

かつて私は魔法学校に５年間、通っていた時がありました。
スピリチュアルに目覚めるって、いったいどんな能力が開くんだろか？
そんな凄そうなことが、お勉強をしただけで出来るようになるのやろか❓

・人のできないことが出来る。
・人の解らないことが解る。
・天使と話が出来る。
・人に見えない世界の事を教えてあげられる。

人に凄いって思われるかな？
尊敬されるかな？
ひえ～～～、私って特別じゃん❗❓
みたいな・・・・・・。。

な～～んちゅうことを、本当は絶対に白状したくないけれど、
かつての私はこういった承認欲求が、欲しかったのだと思います。
（周りの人もそうだったし、多分私以上に）

私が本当に欲しかったものは、
「真実」とは何か！
「覚り」とはどんなことなのか！

この二つを知ることです。

それをひと言でいうと、
洞　察　力
が、私は欲しかったノダ～。

なのにですよ

世の中にはお勉強なんてしなくても、
その力が生まれつき備わっている人がいます。

興味深いのは、生まれつきサイキックな人に限って、
こんなことを言っています。

自分に見えたり、聞こえたり、感じたりする能力が無かったら、
自分が普通の人と同じなら、どんなに生きるのが楽だろう！
こんな力を与えた、神様に腹を立てて、何度も「消してくれ」と逆らったのに！

と口をそろえて仰います。
そうなんです。能力のある人ほどそう言います。

そして、４０～５０歳も過ぎると、やっと、
サイキック能力と自分の使命との折り合いをつけているみたいです。

面白いもので、欲しくないのにサイキック能力を
持って生まれて来ながら、逃げても逃げても逃げられない人と、

サイキックになりたいがために、何百万もお金をかけて、
スピリチュアル学校に行き、お金を主宰者にたんまり取られながら、
ちっとも実を結ばない人がどれだけいる事か

スピリチュアルを学ぶに従って、エゴがむき出しになる人が
続々と増えてくるのを私はず～と見てきました。
（スピリチュアル産業恐ろしや～）

人間とは本当に面白い動物だと思います。
そういう私もそのお仲間だった訳ですがね
（あ〜〜ん はじゅかしいわぃ）

魔法学校に行ってからというものスピリチュアルを学ぶに従って、
エゴがむき出しになる人たちが続々と増えてくるのを
私はじぃ〜と 見てきました。
そういう私もそのお仲間に入っていた訳ですがね

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

魔法学校にしても、サイキックをうたっている宗教にしても、
惹かれるのは「見えない力」を持つ
特別感　です。

サイキックも占いも、心理学、聖書や経典でさえも、
使い方や読み解きを間違えれば、
人や自分をコントロールさせる化け物に化します。

その化け物道具を、いい加減に扱う事が
どんなに恐ろしいかも知らずに、

エゴは魔術を習得すれば、

「あなたは神様から選ばれた人？楽して儲けられる？あなたは特別？」
と言う甘い言葉で誘って罠をかけようとします。

そうならないように、魔法学校では色々な指導をしていく訳なのですが、
エゴの勉強をすればするほど、私はエゴに近づいている様に見えました。

学びながら、ふと気づくことがあります。

「あれ？つじつまが合わない？」

って感じる時が何度かあるのだ。

でもそこに、どっぷりつかり出すと見破り難くなるのだ。

「これってちょっとおかしくない？」って仲間に投げかけても、
「何言ってんの？この人」みたいな反応をされて、

解らないみたいでした。

多分「世界平和とか、正義とか、愛とか」をうたい文句にされてしまうと、
そこに隠されているエゴ（嘘）がある事に気づかないみたいです。
これは、魔法学校に限ったことではありません。

例えば、宗教や心理学、ビジネスでも、井戸端会議でも、
ど～～こにでもある手法です。（な～んとなく気持ちいいからね）

特に相手の感情の隙をゆさぶるものは、
巧みに人のエゴの弱いところに侵入してきます。
だから、ちょっとしたサインを見逃してしまうんですね。

私は魔法（女）学校では沢山の秘儀を学びましたが、
一つ一つのテクニックを学んだことより、そこにいることで、
私の常識では測れない人間のあり様を体験することの方が、
今の私の血肉になってます。（ありがとう）

普通一般の組織では、あんなにユニークな人達が集まるのは難しいでしょう。

ユニークと言えば聞こえは良いが、一歩間違えると
「あなた大丈夫ですか～？」みたいな人達も多かったです。
（これ、悪口じゃないです。個性ですから）

社会とうまく交流が出来ない人や変わった人が多く集まっていたし・・・。
そうは言っても誤解の無い様に、ご説明。

魔法学校に通われている方は普通の職業についていらっしゃる方も沢山いますよ。
主婦やＯＬ・サラリーマン、教員、治療家・国家公務員、
お坊さんとか、色んな方が来ていますからね。

**サイキックを学びたいだけでなく、自分を理解してくれる人や、
自分の不思議体験に答えてくれる人が他に誰もいなかったから
答えが欲しかったと言う人もいます。**

私が魔法学校に在籍することは、結果的に人間関係のエゴを沢山観る羽目になりました。
人間世界の闇を映画化したみたいに。。。

「上映会は足を洗うまで、まだまだ続くのじゃ〜。」

無理難題。無茶苦茶。
地に足が付いてない。
秩序がない。わがまま。
偽善。嘘。戦い。性欲・金欲・むさぶり。

むき出しになるエゴのやりとりに当然、私もストーリーに巻き込まれ、
自分のエゴを観させられます。

この5年間で一生のうちに観なくてはならない
心の闇を殆ど目撃した気がします。

もちろん純粋の愛も見ましたよ。
ただ、全体に良いも悪いもないのですが、起こることの密度が濃い。

学ぶべき時間と空間が一気に押し寄せて、
あっぷあっぷになるんですわ〜
これが魔女学校の学ぶべきミッションかとさえ思いました。

「あなたは、有り金全部はたきながら、
エゴの湖に飛び込みに行くのかい？」
「ちゃんと戻って来れるのかな〜？」

みたいな日々でした。
そこで、私が学んだことは、自分ではどうにもならないことは、

諦めるのも選択の一つなんだと思いました。

むりくり答えを求める必要がない時、頑張らなくても良い時もあります。

だから、**諦めても良いんだ**　と気付くと、
この世は何でもありなんだと思えてきて、
起こる事に　**判断を下す事**　が少なくなって来ました。

「あなたは、そうしたかったんだね。」
「あなたは、そう感じたんだね。」🙈

ってな具合に、その人も、自分も、ありのまま尊重出来る事を覚えました。
そして、様々なアクシデントを経験をするうちに、腹が座りました。

死ぬ時は死ぬ。
生きる時は生きる。
いつお迎えが来ても良い様に、
起きること全てに委ねようと決めました。

「わたし、も〜〜いいわ〜。
サレンダーします。」って💞

私の結論。
魔法学校は人間のエゴと自分のエゴを濃縮して
見せてくれる学校です。

バーチャルな生きた学びが出来ます。
それも、自分が望んだ分だけ。

ひとつ言えることは、人を批判して片づけたことには、
魔法学校のミッションでは終わらないのだ。

そこを離れても、追いかけてくる。
だから、私はサレンダーしました。

そして降参することを教えてくれた、
全てのものに感謝しました。

2.　自分は特別だと思いたい

先週あるセミナーで会った女性のお話です。
セミナーが終わってから、バスで移動した時に
隣りに座った女性がこんな話をし始めました。
その言葉、「あれ？なんか変！」と思いました。

彼女：「△△先生（セミナーの先生の事）は、
上から情報を下ろしているのかしら？」
と、突然話し出しました。

私は彼女とは一度も話したことはありません。
そのあと、彼女の話には**「上が」・・「上が」**と、
さも当たり前のように何回も**「上が」**の言葉を連発していました。
この会話は、一般人に対しては、きっと訳が解らないと思います。

つまり**「上」**とは、神・宇宙・天使とかの存在の事を
言っているのですが。

今回出席したセミナーは、特にスピリチュアル的な内容では
ありませんし、
出席者も比較的一般的な考えをお持ちの方が殆どです。
先生も科学者ですし。

で、なぜ私に何度も彼女は、**「上が！」「上が！」**って連発するのでしょうか？

そして、次の会話は、
彼女：「上からの浄化が済んだら、
私はスピリチュアルの仕事をする予定です」
と言い出した。
私は「ふ～ん、そうなんだ」と、一応相槌を打った。

彼女：「私はエーテル体を切る手術ができるんです。」
私：「エーテル体って切っちゃっても大丈夫だと思う？」
と私は聞いてみました。
彼女：「私は学校で学びましたから・・」

そもそも、**エーテル体**って言葉は、知らない人の方が多くありませんか？
オーラの話くらいだったら、最近は皆さんご存知でしょうがね。
エーテル体だけだったらまだしも、**手術をする**とか聞くと、どうでしょうか？

魔女学校に行っている人の特徴って、時々そんなところがあります。
霊氣やシータヒーリングを学んでいる人にも、似たような感じの人がいました。

何の為に、一般の人が解らないかもしれないことを、初対面の人に話すのでしょう。

「私って特別なの～」って、表現したいのかな？
あなたの知らないことを教えてあげる。
私がスピリチュアルな勉強をしていて、
特別な力を持っているのよ・・。

みたいな。。。。

と、彼女の言葉やエネルギーでなんとなく想像してしまいました。

必死こかなくても、本当は、みんな、み～んな
あなたも私も特別な存在なんだよよ～ん。

スピリチュアルを習い始めた時は熱狂的になり
自分だけの常識の世界に入りやすいし、
自分はすごい事が出来るのを自慢したり、認めてもらいたくなるものです。

私：「**エーテル体の手術**　は△△魔法学校で学んだのかな？」

私的には、彼女が「**上が上が**」　と言っていた時点で、
彼女が魔法学校に行き始めたばかりの人だと、ピンと来ました。

彼女：「えっ！なんで知ってるの？
エーテル体の手術　を誰かにしてもらった事があるのですか？」

私：「もう、８年くらい前になるかしらね、学んだことがありますから・・・」

私が余計なことを言ったばかりに、今度は質問攻めに変わりました。
自分が特別に思われたい人は、魔法学校みたいな所にはまりやすいのかもしれません。

この世を変えたい！

と、強い正義感をもっている純粋っぽい人も、集まって来ます。

正義感もあり過ぎると、善悪正邪の戦い😱が生まれます。
魔法学校の目玉行事に、神殿ワークと言われる**「イシス神殿」**というワークがありました。
（お〜〜懐かしい言葉じゃわぃ👂）

イシス神　を下ろし、「世界平和や愛を広げる為」とか言って神殿ワークをするんです。
でも、これも私にはピンと来なかった。なにか腑に落ちない。

「世界を救う選ばれし人」という正義感の勲章の輝き ✨が過剰になってくると、
私は引いてしまうのだ💀

3.　魔法学校のイニシエーション

私が魔法学校に在籍することは、結果的に人間関係のエゴを
たくさん観る事に繋がりました。
この5年間で一生のうちに観なくてはならない心の闇を
山ほど観👀させられました。
それは・・・、
私が浄化しなくてはならない事が山盛り有ったとも言えるし・・、
今世で、超えるべき課題を一気に清算しようと覚悟を決めていたのかもしれない。

いずれにせよ、
魔法学校は人間のエゴと自分のエゴを
濃縮してぐじゃぐじゃに混ぜ込む作用があります。

なぜ、魔法学校ではエゴが
濃縮して現れるのか！

こりゃまた不思議な話ではございますが、

魔法学校には**イニシエーション**✨と言うものがあるんですね。

イニシエーションとは、古代から伝授されている儀式の事です。

イニシエーションをすると、何が不思議かって言うと、
イニシエーションをした後に、何らかの変化が現れるのではなくて、
イニシエーションをすると決めた瞬間から
何かが動き出すのです。

何かって？

それは、自分が進化するために超えなくてはならない課題に取り組むための
舞台が設置される瞬間なんですね。

ゲロ🤦

課題を取り組む舞台がセティングされるわけなの？

それって、もしかしてヤバくないですか❗️❓

例えば、離婚とか、離職とか、大切なものを失うとか、人との出逢いとか、
別れとか・・・、一生のうちではそんなに起こらない様なイベントが、
時には闇討ち的に起こる可能性があるのじゃ〜。

もう一度、言います。
イニシエーションをしよう決めた
瞬間から何かが動き出すのです。

そうです、前にもお話ししましたね。
量子力学のお話ですよ。

意図した時、
意識した時、
観察した時に、
エネルギーは動き出しているのです。

魔法学校のイニシエーションとは、意識のレベルを上げるために行う儀式とも言えるでしょう。

私はそう認識しています。

魂が成長する為には、不安や恐れを自覚して、
手放す為の経験をすることになるのですわぃ

シュワッチ！！

越えられない課題はやっては来ませんから、
目の前に起こる課題に、いかに満点に近い点数で
シュワッチ（受け止め・取り組む）できるか！
それがイニシエーションを受ける心構えになってくるのです。

そんなら、魔法学校に行かない人が、
魂の成長を促す為にはどうすれば良いのでしょうか？

お手上げバルタン星人🙈
（ダジャレにもなっとらんわい）

それは、自分が進化するために超えなくてはならない
課題に気づき向き合うしかないのです。

イニシエーションをする事はイコール、
課題に取り組むための舞台が設置される瞬間なんです。

課題とは、
「本来自分が受け止めなければならない
問題を見ずして、放置していたもの」と
ここでは、定義しましょう。

魔法学校でいうイニシエーションとは、
「次の段階に上がるステップ」と言われています。

段階と言うと、表面上は係長とか課長とか課長代理
部長、次長、専務、社長、とかの役職の階級と同じように。

例えば、なにがし講座の場合は初級・中級・上級とかあるじゃんけ？

魔法学校にも、あるんですよ～。頑張った挙句の証しみたいな役職が。

どんな組織にも、そういうのってありますよね。
組織を円滑に保つためのヒエラルキーが。

イニシエーションをした後は、

「次はどんなことが学べるのかな？」
「次に上がると、どんな力が付くのかな？」
「もっと先には、とんでもない凄い世界
の扉を開けることが出来るのかな？」

っと、私は３年間そんなことを夢見て、在籍した期間は５年間。
その間、じっくりと自分と他者の心の動きを観察していました。

こんな期待を魔法学校にもっている人もたくさんいるように思いました。

「一生懸命頑張って学び続ければ、△△先輩みたいになれるもんね！
そうなれば神様と繋がっているのだから何でも教えて貰えるんだわ！
その力を使ってスピリチュアルなお仕事をして、
どんどんお金が入ってくることになっているし、
そうだわ！アバンダンスの講座も受けたから楽勝ね・・・。

素敵なお家に住んで、きれいなお洋服着ておしゃれして、
かっちょいい彼氏も直ぐに現れるし、
何ってったって、この私のファンがいっぱいになってさ、
私が何かアドバイスを言ったら、みんな感謝して聞いてくれるわ。

「お金も恋愛も健康も美も名誉も」み～んな手に入れて、
自分の使命が果たせるようになるためには、
この学びをもっともっと頑張って突き進むことなんだぜぃ」

（これ、めちゃ執着です。）

頑張れば、きっとそうなれる
と、思っているうちに・・、はや４０年！

（と言っているのは綾小路きみまろ）

そのモチベーションや夢があるから、
この世は激情的で楽しいんやな～

4.　魔法学校の階級の意外な決め方

魔法学校にも頑張りの証しみたいな役職が、
順番っこにあるんですよ～。

ただ、
「頑張っただけじゃ～あんた上に上がれないんよ！」

ってな、訳の分からない法則を設けたのが、魔法学校のうまい仕組み。

私たちとしてはその訳がわからないのがミステリヤスで
逆にググッと惹かれて、どうしても頑張ってしまうのだ。

人間の弱いところをくすぐられる、うっかり罠にはまりそうな法則があるのだ・・・。

この法則は、「選ばれしもの」と「選ばれないもの」を作ります。

それはどんなに努力しても、「あなたは選ばれませんでした」
ジャンジャン で、終わってしまう。

つまり、その理由が社会や他人の理不尽や、選んだ人の好き嫌いとか
で左右されるのなら、悲しい気持ちにはなるけれども、
まだ選んだ相手は**人や常識**なので、多少気持ちのおさまりがつくが、

魔法学校の場合は選ぶ相手は、「**神の神託**を受けたとされる
校長先生」からの指名になるのです。

こういうのって、もう、何に文句を言ったら
良いのかわかんなくなってしまいお手上げでごじゃります。

でも、校長先生は外人だけど、人間だもんね。

そこが、**ミソ**の様な気がするけれど、それはソレ、
学びを深めているところのトップなお人なのだから、
ミソもクソもなく、神様は神様で、神様なんだから、
で、神様の指名をトップは伝えていると信じるのじゃ。
（あ〜〜、神経衰弱にかかってもうた）

役職は、**ティーチャー1と2**,
リチュアルマスター1と2という階層が有って、

それになる為のイニシエーションはそれ相当の大金（授業料）を出せば、学べます。

そして難なく役職につけます。

だから、みんな頑張って、自分の晴れがましい人生を掴むために、
お金を払い学びます。

ところが、**ガイド**と**サードステップ**という役職は違います。

そうなんです、
「上・上・上ですよ〜上が決めるらしいのだ」

重要な役職は、いくら頑張っても上（神）の神託が無ければ
選ばれないと言われているんです。

ガイドになると何ができるかというと、

一定の「イニシエーションとセミナー」が出来る権限を与えられます。

ガイドが出来るセミナーとイニシエーションは、魔法学校に入る一番最初の門なのです。

これが、めっちゃ神秘的で、目からうろこの様な学びがあるから、
初めてこれを知った私は超興奮して、夢心地になりました。

「こんな世界があるんや〜。
天使・天使・大天使ミカエル・ガブリエル・観音。。。

ワクワクするぜぃ💗」

そのとき、私にイニシエーションをしてくれたガイドさんは、
めちゃ美人👧で知的で、巨乳おっぱいチラチラ👀で、

２日間は、ずうっとスピリチュアルなお勉強をして、
最終日の夕方暗くなった頃にイニシエーションが待っとるんだがね〜。

ガイドさんは、白い神官が着るようなお洋服に着替えて、
真っ白なローブをはおり、

部屋は真っ暗にして、大きなキャンドルや剣やベルや聖杯、
お香、水晶などが祭壇に祭られて、おごそかに、一人呼ばれると、
ガイドさんは、呪文を唱え始めます。

そのお顔がなんと神々✨しいことか。

インセンスやセージの香りが、さらに深い瞑想状態と興奮の
交互にいざないました。

ガイドさんは呪文を唱えた後、日本刀を私の頭にかざして、
「あなたを光のヒエラルキーの仲間にする」
といったお声掛けがあります。

その後はガイドさんからチャネリングを伝えられます。

チャネリングとはガイドさんが、彼女と縁のある天使👼と繋がって、
天使の言葉を伝えてくれることです。

私は、私の知らないミステリーな世界に足を踏み入れた喜びに、
胸が高鳴った💗事を覚えています。

私の欲しかったものはコレかもしれないと🔍
どんどん深入りしていく私。

特別なことを知っている素敵な私と思っている那旺さんでした。

私も、こんなお仕事したい。
ガイドになりたい。

頑張れば、一所懸命やれば、
ガイドってなれるんやろか？

ガイドになりた〜い

入りたての時は、懸命に頑張ればガイドになれるかもしれないと夢を抱きました。

ガイドさんになっている先輩は誰を見ても、凄そうです。

頭も良いし、優しいし、天使とお話しをする声は、鈴🎶の様です。

あとになって、上（神）の神託が無ければガイドにはなれないと聞いて、
なるほどな〜って納得したものです。（入ったばかりの時は、その構図を知らなかった）

ほんじゃあさ〜、
どういう人がガイドやサードステップに選ばれるのかい？

それは、決まっているでしょ。

覚っている人じゃない？
心がぶれない人。
めちゃスピリチュアルな人。
人格が整っている慈悲深い人。
神様から信頼されている人。💕

な〜んて、私は思い込んでいました。

でも、学んで来て何年か経ってくると、色んなものが見えてきます。

ぽつり、ぽつりと身近な人たちもガイドになっていきます。

あれ〜〜✨
この人、ちっとも覚ってないし、心はぶれぶれだし、
自分勝手で感情をコントロールできないし、
約束を守らないし、いったい何なんじゃろか🤔

自分が妄想していた「ガイドになれる資質」はどんな人かと言うと、

真剣に心を磨いて、
洞察を深め、
慈悲のあるこころと行動が出来る人

それが身に付けば、自ずとガイドとして道は開かれると思っていた。

でも、**それは本当に妄想**だった。

そうこうしているうちに、憧れていたガイドさんたちとも
日常に接点を持つようになったら、アレ？この人って普通の人？

ちゅうか普通じゃないでしょ・・
ちと、人間的に変じゃないっすっか？
っと、だんだんイメージが崩れてきた。

これ以上お話ししちゃうと、悪口みたいになるので控えますが、
要するに「特別の人じゃなかった」と単純に言いたいのだ。

私は魔法学校では、なるべくフラットな距離間で接したいと思っていました。

周りが見えなくなるのは嫌だったから。

だから、トップが右を向けと言っても、向かない時もありましたし、
校長先生にひねった質問をすることも多々ありました。
周りの人は、いたって素直でおとなしい感じがしました。

この矛盾ある実態に気づいてからは、
私はあらゆる人間模様をここで観察してみようと決めました。

多分、魔法学校での私は、ダントツに不真面目な生徒です。
何を考えているか分からないような

じゃ〜〜ん！

そんな私でもガイドに任命されました。

ですから、仲の良い友人は、

「那旺ちゃんみたいな何も努力もしない人がガイドになれるのなら、
誰でもガイドになれるかも？と思える希望の道を作ったね」

と超失礼なことを言われましたが、
ホントその通りだと思います。

でも、私は魔法学校で教えられたテクニックとか瞑想とかは
真面目にやっていませんが、**洞察力だけは磨いた**と思っています。

なぜなら、それが私のここでの、ミッションだと決めていたからです。

もしそれが評価されてガイドに選ばれたなら、
私は自信をもって受け取れます。

ほんじゃあさ～、どういう人がさ～、
ガイドやサードステップに選ばれるのかい？

と言う結論を長く引っ張って来ましたが、
やっぱり、神様に選ばれるとかそんな大層なことじゃなくて、

それは～～魔法学校の～。。。
大人の事情な気がします。👍

例えば金銭的なことや、
感情的なことや、
経営的なことや、
対面的なことや、
貢献度とか、
役に立つ度とか、
好き嫌いｅｔｃ・・・。

もちろんその人の持っている良いところが、
評価対象ではありましょうが・・・。

ただ、大人の事情だと私は、なんとなく思う。

そうはいっても、私はサードステップだけが集まる
※マル秘合宿に行ったとき、
（※このマル秘は後日に、チト公表）
この人たち、やっぱり凄い！！

って改めて認識したことがあります。

サードステップ位になってくると、本当に根性が座ってきます。
ちょっとやそっとの事ではビクつきません。

「今、あなたは何が出来ますか！」

そう、✌️

あらゆるアクシデントに遭遇しても、そういう発想になっていきます。
そりゃ～なるでしょ。

目の前で、理不尽や、頭で考えてもどうにもならない
意味不明なことが、日常で見ちゃう訳ですから・・。
気づいたときには、色んな訓練が出来ているのでした。

実際に、棒術やテコンドーなんかも学びましたよ。

その時は、勝つとか負けるとかの戦い前提の考え方が有ったので、
私は違和感を覚えていましたが、武術によって、強さや瞬発力を持つことは、
人を癒していく仕事としては大切なことだと改めて思っています。

軸を作りますからね🌊

そういう意味で魔法学校は、私の思った通りのところ！

だ、にゃ〜〜ん。

魔法学校はサイキックを学ぶところではなくて、
どんなことに対しても、良い悪い、善悪の判断を持たずに、

「今、出来得る事は何か！」

を瞬時に考えられる為の能力を身に着ける学校なんです。

それが形成された時に、初めて愛💗が自発的に発動され、
サイキックが目覚めるというのがからくりらしい。（と私は思っている）

でも、これは、魔法学校でなくても、実は日常の生活でも学べるのです。

ただし、魔法学校はエゴの密度が濃いので、それに気づくことが
何倍も速いかもしれません。

ただし、そのからくりに**気づいた人**にとってはね。

でも、
文句や悪口を言って、学びから去っていった人は、
気が付いていないかもしれませんが・・。

そっちの人口の方が明らかに多かったです。

魔法学校で理不尽が起こるのは、自分の浄化をいかに早く手放すか！
ということに尽きるのかもしれないけれど、、、。

起こることすべてが投影（自分の鏡）とは言えないけれど（実際は全てが投影です）、
手放す時間が長くなればなるほどお化けの様に自分の影が大きく成長して、
理不尽を突き付けられるシナリオになっているようだ。

みなさんの人生にも同じような事って繰り返してないかな？

そうは言っても私は魔法学校に5年も通っちゃいました。

週に3〜4日通い詰めていたのだから、時間とお金のエネルギー出費は、
半端じゃなかったです。

特に神殿ワークは、朝から晩まで土日の時間をずっと費やします。
世界平和とか愛を送るとかのワークに参加するだけでも
１万円以上もかかります。

ちょっとした講座は、５万〜３０万は当たり前。
みんなは、お金の観念が麻痺して無くなると言ってました。

イニシエーションとかチャネリングクラスのカリキュラムになると、
１００万円前後になるし、

ちょっとしたグッズでも、他のお店で売っている金額の、
１．５倍💰はとります。

エネルギーチャージがしてあると言う理由で。。。💀（ただのお金儲け手数料ですが）

神殿ワークのお話に戻りますが、
このワークはずっと立ちっぱなしで呪文を唱えたり、
かなり変わった動きをすることもありました・・。
（これをリチュアルワークといいます）

練習は朝から夕方までかかり、その後は本番のリチュアル３時間くらいやっていたかな。

その光景は、私の文章力では表現出来ないです。
それこそ、普通の人が見たら、狂気👨に感じることでしょう。

私もやっていて、「マジ？これって変！狂っているかも・・・」
そう思ったりもしました。

でも、いい加減な思いでリチュアルをやっていたら、
ある時校長先生にエネルギーでバレちゃって、、指摘されることもありました。
それこそ色々見えていらっしゃるようで。

魔法学校に5年も通う前に、
「もっと前に辞めても良かったんじゃないの？那旺ちゃん？🎃」

と未来の私が何度もメッセージを送って📝くれていたかもしれない。

でもその時の私は、

「なぬなぬ🎃。真実を見届けるまでは、わたしゃ辞めませぬ」と、
あなたの声など知らぬ存ぜぬの態度を繰り返しておりました。

未来の私は、愛しい笑顔で、そんな過去の我武者ら那旺ちゃんを見つめています🎃
「大丈夫、必ずここに来るから。ちゃんと見守っているから、待ってるよ ✨」
って。

そして、「はーい、戻ってまいりやした〜〜。」

5.　魔法学校で起こった変なこと

今、思い出してみても、これだけは「訳がわかんねぇ〜よ」

これって、変・・❗と思ったことが2つ有りました。

まずは1つ目のお話をしましょう。

魔法学校の生徒の中堅どころが100人位集められた時のことです。
かなり期待できるお話しだと思ってみんな集まったのですが、
内容は意外にも、ダイエットサプリメントのお勧め話だった。

えっ！！

なんじゃこりゃ？

魔法学校にはあまりにも似つかわしくない話だし、
なんともエネルギーがギラギラで、いつもとちょっと違うなぁ❓
と思いながら、私は様子を観ていました。

最初に**外人の校長先生の奥様**
(と言っても校長先生と同じ位にサイキックな方です)が、
このサプリメントがいかに素晴らしいかの説明をし始めました。

多分、飲むと美しく🙇なるとか言う事だったと思う。

次には、この**サプリメント会社の人**が、いかに優れた健康食品であり、
ダイエットに成功する🐰ことは間違いなし👍と断言し、
このサプリメントをビジネスにすると安定収入に繋がるなどと
話を進めていきます。

最後に**校長先生**が、

「私達ヒーラーは生活を維持して行くのは大変なので、安定収入を持つことが必要だ。
だから皆さんの為にこの話を繋げようと思います。

自分も既にこの1ヶ月でかなりの収入を得ています。
このプログラムはアバンダンスのエネルギーが凄い。
だからこのサプリメントを友人に勧めたらとても喜ばれるはずです。

そして、あなたも健康で豊かになります。是非登録しましょう」

周りを見ると、皆さん目を ✨輝かせて頷きながら聞いています。

マジっすか？　この光景。

信じられね〜〜っす。

わたす。。。。

トップ12の面々は既にサインナップしているとの話で、
益々、しもじもの者は安堵と希望に溢れている雰囲気。

なんせ、サイキックの頂点の人達がサインしているんだから儲かること間違えなし。

なんちゅう好都合な条件に私達は出くわしているのだろう💰
と、殆どの人たちは思ったのでしょうか？

私はこの時、心の中では、

「もう終わったな。潮時だ」

って、密かに思いました。

仲の良い友達は、当たり前の様にサインナップしています。

確か入会するのに、10万以上はかかったはずです。
お金のない人は、入会さえすれば直ぐにお金を取り戻せると信じて、
親に借りたり、親にサインナップさせたりしていました。

私は友人に聞きました。

「何で登録したの？」って。。

友人は、「えっ❗❓何を言ってるの？那旺ちゃん、何で入らないのよ」
って逆に聞かれました。

気がつくと、誰もがみんな入会していました。
このタイミングに入会しない意味がわかんない位の勢いでした💦

それからのセミナー会場には、ゼリー状のダイエットサプリをジュルジュル😋
飲んでいる光景が日常で見られました。

魔法学校の太めの役員は、3ヶ月位でだいぶ痩せて広告塔の様に見えました。
その割りには一緒に飲んでいる奥さんは痩せてないなぁと、私は首を傾げる🔍

役員のダイエットが成功しているのを見た生徒達は、
尚更に自分の選んだ物は間違いないと、「凄いね！」と、
わーわー喜んで🎪います。

しかし、半年もすると痩せた役員は前以上に太って🌸いました。
半年過ぎた頃、このビジネスで、そう簡単に銭は稼げない事に
皆さん気付き出します。

と言うより、毎月支払う出費💰が苦しくなっていました。
アップアップ🎪

魔法学校に来る人は、人とのコミュニケーションが
うまく行かない人が割と多く集まっています。
そんなタイプの人が突然、ネットワークビジネスなんかで
成功することが出来ますか❓

魔法学校の中堅どころまでなって、
皆さんは天使と繋がるサイキック能力はあっても、
洞察力は置いて来ちまったのかや❗❓
と、ブツブツと、つぶやくわたし。。

皆さん1時間のセッションで、2万円くらい稼いでいる、
売れっ子ヒーラーです。
そんなに世の中は甘くないと思いますよ。

結局、1年もすると、その**サプリメント事件**は無かった事の様に
幕を閉じました。

「私がサインナップをしないのは変わり者でしょうか？」っと、
私は1年経った時に、あえて問題提起をしてみたかったけれど、

皆の中では、**アレは無いことになっている**ので誰にも提案出来ません。
じゃあ、みんな、何でサインナップしたの？

サイキック能力を持っていると信じているトップの人たちが、
「コレは間違いない」と言ったから？？

棚ぼたが落ちてくると錯覚したからでしょうか？
欲は全然あっても良いし、自分が信頼する人が勧めた物を信じるのも全然ＯＫです。

でも、スピリチュアルとか、リーディングだとか、
神が言ったとか、見えないものを前面に打ち出して、
立場の下のものをコントロールするのは如何なものかと私は思う。

しかし、笑えるのはここには被害者が見つからないのが特徴なのだ

何故ならおかしい事をおかしいと気づかないから、
ハッキリ言って、スピリチュアルの名の下に、

どこかが**ポヨヨ〜ン**（意味不明）
になっちゃっているのかな〜？？

皆さん

これって頭が弱い人がハマるとお思いでしょうが、
魔法学校に来ている人は、実は高学歴だったり知的レベルが高い人が多いんです。
見た目も素敵ですし、女性は美人が沢山います。

そうは言ってもよ〜、そんな私も、次のパターンには、
「すっかりやられちまいました事件」
が、あっは〜ん💗ありました。
（テレています。わたくし）

お恥ずかしながら・・・、
「すっかりやられちまいました事件」の真相です。

スピリチュアルだから、宗教だから、まかり通っちゃう事って、実は沢山あるんです。

なんで、こんなネガティブな話を連載して書いているかと言うと、
もし、そういうことでお悩みの方がおられたら、少しでもお役にたちたいと思い、
今まで書かないでおこうと決めていた事を書きだしました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

魔法学校にしても、宗教や慈善団体、企業などでも、
発足当初は志も高く、純粋だったと思います。

しかし組織になって、継続していかなければならないとか、
これによって多くの人が関わり、生計を立てて行かねばならないこと
が多々重なってくると、なかなか志の高さを保って行くのは難しいものです。

歴史をみればわかりますよね。

さ〜〜〜て、私が
「すっかりやられちまいました事件」
のお話しに戻りますね。

私は、校長先生の奥様のチャネリングスクールの
カリキュラムを取って学んでいました。

費用は確か、半年位学んで100万円だったと思います。
だいたい50人以上は受講していました。

私は、前も言ったように真面目な生徒ではありません。
（開き直っておりまする）
練習も殆どしなかったせいもあるのですが、ちっとも成長しません。

教えられた方法がピンと来なくて、生徒同士で
チャネリングの練習をしていても、嘘っぽくて、シックリきませんでした。

それでも、練習ごっこでは、相手のある事なので、真面目なフリをしながら、
それなりに対応していました。

みんな、それはそれは凄いです

みんなを観ていると、マジで自分の未熟さちゅうか、
センスの無さ？
いやはや、そもそもスピリチュアルなことが
出来る資格そのものが私にはあるんかいな？🙈っと、
思う事ばかりです。

殆どの人は、チャネリングスクールのカリキュラムを卒業して
直ぐにセッションをやり始めました。

魔法学校に通って間もなくの生徒さんたちは、
憧れの先輩たちのチャネリングをこぞって受けていました。

それなりに、かっちょいいんだけど・・・。

あんなもんで、いいんかいな❓

目を白目👀にしてチャネリングしている人もいたりして、
これが、すげ〜〜インパクトあるよね！

繋がっているってかんじ、なにげにするッス。🎉

↑　こ〜んな風に🙇（ホンマでんがな〜）

そんなこんなしているうちに、とんでもないことが起こりました。

校長先生の奥様はブロンズ髪のアメリカ人でとっても愛に溢れている方です。

何でも受け入れてくれるみたいな。
包容力が有る！っぽい人よん。

さて、問題発覚！
じゃじゃじゃ〜〜ん！

チャネリングスクールが終わってから間もなく、
魔法学校の体制がちょっと変です。

結論は、校長先生と奥様の不仲説じゃい

ちゅうか、世間にはよくある話ですが、
まだ駆け出しの頃の若い男（校長）を年上の女性（奥様）が
育てあげた行く末、仕事も夫婦仲も順調に行っていた
は・ず・が・・・、

あ～それなのにそれなのに、

ありゃありゃ、

いつの間に、
それはそれは奥様より20歳以上も若い女の子に亭主が手を出しちゃう
って話。

校長先生が女の子に手を出す噂は、ちょくちょく聞いてはいたけれど、
今回は遊びだけでは済まされなかったみたいです。

恋愛は本人の自由ですから、不倫だろうが浮気だろうが、
それはそれで、私には関係ないのだ。

でも、**問題なのは**・・・・。

ありえましぇ～～ん

校長先生が妻とすったもんが続き、結局別れることが決まった途端に、

校長先生が突然言い出したんです。
元妻が教えていたチャネリングは、

ローマジックだから使い物にならないと・・・・。

がちょ～～～ん

ローマジックって？
なんじゃ？

突然、校長先生は、
「私が**ハイマジック**のチャネリングをこれから教えるので、
今までのチャネリングは**なし**だから！」
って突然言い出した。

これって、どういう事だかわかりますか？
今まで、仲間たちがチャネリングのセッションをしていたのは、
実は「嘘だったんだよ」って、

「あっさりいわれちゃったぜぃ💀」と言う意味なんですよ。

そこまで、言っちゃうのか！魔法学校。。

そうなったらそうなったで、
ネットワークビジネスの時と全く同じような現象が起こりました。

それを聞いた、チャネリングを仕事にしていた仲間たちは、
「私は初めからおかしいと思っていたのよ〜やっぱりね🙄」

って平然と、今さっきまでやっていたことを
簡単に覆してしまいました。

なんと変わり身の早いお方たち✌️

100歩譲って、より高度なハイマジックチャネリングを新たに教えてくれるなら、
それはそれでイイとして・・・。
と、思いきや・・・・。

も〜、
マジでありえないのが、

新たにハイマジックを教えるのに、100万円かかると言うのです。

じゃ〜、奥様の教えてくれたローマジックとやらのチャネリング代の
100万円は当然返金してくれるはず。

ですよね〜〜、当然です💥
普通の企業なら。

でも、違うんじゃい。
この世界では。

げろ〜〜〜〜☼💀👨‍🦲

何人か上層部に掛け合っている人もいたけれど、
「すみませ〜〜ん」の一言で、すべてチャラにされてしまった。
バカげた話です。

そして、当時の私はみんなに習って、理不尽を受け入れ、
100万円費やして、さらにハイマジックチャネリングを学ぶことになりました。

でも、半年間のカリキュラムがあと1回で終了する直前に、
私は、あえてこの講座を欠席することにしました。
つまり魔法学校を止める決断をしたのです。

要するに、あと一回行けば終了する100万円のカリキュラムに対して、
「ＮＯ❗」を出したのです。

人間関係もボロボロで、気力も失せ、バカバカしくなり、
本当に疲れ切ってしまったのだ。

多分、魔法学校に使った費用は1千万円は軽く超えたんじゃないかな？

私は、途中でお金の事を考えるのが恐ろしくて、
計算するのを止めていましたが、

同じ進度で学びを進めてきた仲間が、金額を教えてくれました・・・。
余談ですが、彼は、私より２年後に辞めたせいもあり、その金額はなんと、
3,500万円と言っていました。

そして、私はここで学んで来たことは、今は一切封印してしまいました。

私は言いたい。
私は聞きたい。
「魔法学校の中でサイキックな人ってだぁれ？」って

そろそろクライマックスかもです。

6.　二度は出来ない、この経験！

魔法学校で学んだなかで、
想像をはるかに超えた出来事をお話しします。

魔法学校の役職の中で、ガイドとサードステップに関しては、
他の役職と違い、いくらお勉強を学んでも多額なイニシエーションを受けたとしても、
校長先生のチャネリングによる任命無しには、
決して就けない仕組みになっています。

だからこそ、**「特別な価値ある能力を備えた人」**
と魔法学校の中では見られています。

但し、この組織を出たら、「ただの普通の人」な訳ですが・・・ね

この特別感を見せしめる事は、魔法学校にいる生徒たちにしたら、
憧れでもあり、ジレンマでもあります。

ガイドやサードステップになったら、立場上、美味しくてやめられません。

例えば、社会であまり認められたことがなかった人などは、
ここにいれば、ぐぐ～んと自己価値が上がる訳ですから、
なかなか手放せないでしょう。
そうは言っても、深入りすると、美味しい事ばかりではないようですが
どんな社会でも組織になると有りがちな事ですよね！

実はスピリチュアル度的にいうとガイドより、サードステップの方が
威厳があることになっています。

私が駆け出しの頃は、サードスッテップにもなると、
「悩みがなく、愛そのもので、何でも願いが叶う人」

と、根拠なく漠然と思っていました。
多分私以外の人も同じだと思う。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

さ～て、説明はこれくらいにして、
私がサードステップに任命された時の話をしましょう。

ただし、任命されたとしても、合宿に行かないとサードステップの称号は貰えません。
確か、３泊４日で、５万円くらいの合宿料金だったと思います。

今回は魔法学校のべらぼうに高い合宿料金に比べたら随分安いなぁと
誰でも思ったとことでしょう。

やっぱり、ここに至るまでに破産するほどお金を出しまくって来たわけだから、
今回はお祝いなんだし、
これからも魔法学校の為に働いてくれる人達なんだから、
一度くらい良い思いをさせても良いんじゃないって、普通に誰でも思うでしょう。

今回の合宿は、先輩のサードステップの方たちとの
仲間づくりの合宿なんだろうなって、本気で思っていました。

いっそのことタダにしても、良いくらいなのに、
そこは魔法学校のセコイところだわ💰くらいな考えでいました。

私は本当に甘かった。

が～～～～～ん

さて、バスを降りて合宿所に着きました。

あら、まぁ相変わらず、大した宿泊先ではありません。
「お昼ご飯を食べてください」っとトップに言われ、
昭和初期の社員食堂みたいな貧相なテーブルには、
おにぎりが、一人１個だけ置いてあります。

「ええっ」

先輩たちのテーブルにはカレーライスがありました。

私は昨日は昼も夜も食べ損ねていたので、めっちゃお腹がすいていたのに・・・、

なんじゃこりゃ？？の世界。

おにぎり、いっこ・・なのだ～。

副校長先生は小さな声で、なんか変なことを言っています。
「これが、最期の食事だから」って。

聞こえちゃった私は、「また～、何言っちゃってるの？」
と事の重要さに気づいていない。

取りあえず言われたまま、
サードステップになる卵の諸君達と、一緒におにぎりを１個食べました。

「では、これから出かけるから。
荷物は何も持たないでここに置いて行きます。
着替えも必要ありません」っと、副校長はいいました。

今、着いたばかりでおにぎり１個しか食べさせてくれないで、
これから直ぐに湖で、リチュアル**（神と繋がる儀式のこと）**でもするのかな？

相変わらず、魔法学校のすることは、厳しいじょいな～。しぶしぶ

っと、副校長の後に付いていこうとすると、何か、視線がきになるんだよな～。
サードステップの先輩たちの視線が。

死刑を宣告された人を見るような、同情に似たエネルギーを先輩たちは送ってる。

意味わかんね～～だ。

どうも、湖ではなく山を登るようだ。

途中で、外人組の新米サードステップと合流した。

１０人位はいる外人たちは、半袖の季節だというのに、
全員ダウンジャケットを着て、毛糸の帽子をかぶっている。

ポケットにはチョコレートやお菓子やポットには温かいコーヒーとか、
何やらリュックまで背負って、たいそう荷物が多いじゃん。
こやつら、大層な装備して、ななな、な～んだい。

こちとら、江戸っ子で〜ぃ。。
（なに、外人と競争してるの那旺ちゃん？）

副校長の指示のもと、な〜んも持っとらんけん。
私なんぞは、お祝いパーティー合宿だと思っているから、
チャラチャラした夏物の可愛いドレス🐰を着てきたんだもんね〜。

副校長は、ある程度山登りをすると、

「自分の気に入った瞑想する場所を探しなさい。
他の人達とは見えない程の距離を置いて、自分の場所が決まったら、
そこから５メートル以上は決して動いてはいけません。
コチラの指示があるまでは、勝手に動いたり話をしてもいけない❗」

と言葉を残して、山を下りて行った。

まぁ、いつもの事だけど与えられる課題は厳しいのぅ。

と、思っていたが、待てど暮らせど命令の解除はありません。
時計も何も持ってないから、何時だかわからんけれど、
山を登ったのが１時過ぎくらいで〜、もう陽は暮れかかっている。

多分６時前じゃないかな？

退屈やな。

周りは岩だらけで、ケツが痛いし、昼でも寒かったけど、
陽が暮れると、

お〜〜〜さみぃっす。

こんな私だって、サードステップの端くれ✌

いつ、何が起きてもいいように、持ってきた荷物の中身は、
ウインドウブレーカーや雨具や、
動きやすい恰好や補助食品は持参してきている。

ただし～、山に登る前まではね。。

副校長は行き先も告げず、荷物は一切持つな🚫と言われ、
手に一度は持った傘などは、敢えて置いてきた。

ただ、私は先輩たちと別れる時に、先輩に同情するような悲しい目で見送られた時、
これは尋常ではない事が待ち受けているのでは？と、ふと虫の知らせがした。🐛

だから、私は出かけにハンドタオルと帽子。
スティク状のサプリメントと、コンタクトケースをわしづかみにして来た。

既に山を登ってから、かれこれ５時間が経とうとしている。

多分時計が無いから分からないけど、確実に真っ暗に近づいている。

みんな、どうしているんやろか？さむいよ～。🐵

山の夜の気温は今は７月初めだけど、３月くらいの気温の様な感じがする。
今更に思うけど、外人組のサードステップらは夜まで放置されることを知っていたんだわ。

だから、ダウンジャケットに毛糸の帽子、オヤツまでもダウンジャケットの内側に忍ばせて、やけに見た目が肥っていたじゃんけ。

くそ～あ奴ら、ズル・しくさって！
と、日本人の真面目さを憂う。

だから、日本は戦争に負けるんじゃ。
（と、戦闘態勢になっとる私。要はいちゃもんやな）

このまま凍えて死んじゃうやんか

おだぶつ～。。

ち～～～ん。

あれから、何時間経っただろうか？

もう、真っ暗くろすけやん。

なんでお迎えに来てくれへんの？

まさか、今日って、野宿

私の陣地って、ほとんど崖よ。

横になったら、落ちるじゃんけ？

↑　この絵はオーバーやけど、

いずれにしても、私はここで寝てしまい意識を失ったら、
ズルズルと下に落ちてまうぞ～。

落ちても死にはしない風景だけど、相当の痛手を負うだろう。

その前に副校長の命令の半径5メートル移動厳禁をズル剥けで違反してしまいますぅ。

だから、木にお股を挟んでストッパーをかけない限り、寝たら落ちるのだ。

お股、痛くなるだろうな～。

下はごつごつの石と土で、枕にする石も、斜めになっていて寝違えそうだわぃ。

あ～ブルブル、寒いっす

私、半袖なのよ。

そうこうすると、魔法学校の先輩が懐中電灯で照らし様子を見に来ました。
こちとら、**喋っちゃいけないのだ。**
（でも、わたし、捨てられた子犬の様に震えているのよ！
っと、アピール懇願顔中　）

先輩：「ここに、2リットルのお水2本と、トイレットペーパーを置いていくので、使ってください！」

（あ、あ、あ、あんさん、その冷静な対応ってなによ！）
と心の中でつぶやくと、

先輩は次の新米サードステップの所に向かって行った。

先輩は、何本ものペットボトルをどうやってこの真っ暗な山道に運べたんだろう？
いや～、もう人の事なんか考えている場合じゃね～～っす。
多分、時間は夜10時⌚を過ぎた感じがする。

はい。これで、野宿決定ですね❗

もう、いい。💩

オシッコしてやる。
寝床から少し離れたところに移動して、オシッコをした。

真っ暗なのに、10時間も同じ陣地にいると、大抵のものは見えて👀くる。
せっかくトイレットペーパがあるのだから、トイレに使うというより、
ミイラ💀になっちまおう。

おぉ～さむ💦

手も足も首もグルグル巻きにした。
頭は帽子をかぶり、口にはハンドタオルを巻いた。

私、どんな格好しているんやろか。

生きるためなら何でもするぜぃ。

あ～さむぃ、ぶるぶる。💀

新米サードステップの仲間のMちゃん、どうしてるかな～。

仲良しのMちゃんは、鎌倉の住職だ。
天台宗の大阿闍梨とか言っていたけどさ、
こんなところで、こんな変なことしていて良いのかいな～。

瞑想もせずにいる私は、こうやって邪念だらけっす🔥

あれ～～？
ねぇ、ねぇ・・・ヤバクね～っすか？

ぽつり。ぽつりと、上からおしょんべん？
ちゃうちゃう、雨ざます。

私、ととろみたいに、傘、ないんだよ～。

何で・・こうなるの（欽ちゃん）

せっかく寝ようとしていたのに雨が降ってきた。

絶体絶命。

これ以上体温を奪われたら本当にやばいです。
私は風通しのいい場所を陣地にしてしまったようだ。
（なんという失態）
私は直ぐに大きな木の下にへばりつくように、つま先立った。
雨は小雨だが、風が雨を運び私を襲う。

雨は降ったりやんだり。
このままいつまで降り続けるのか？
座ったら、お尻はびしょ濡れになる。
この寒さの中、今夜は徹夜になるのかい？

え～～～～～～ん。

この年で、なんでこんな体験を
せにゃならんのだ〜。

でも、きっと明日朝早くに
先輩が迎えに来てくれるまで、あと8時間くらいの辛抱だ。

だから〜頑張るのだ、サードステップじゃん

と希望を抱いてから、はや15時間

雨は止んで、御日様が射してきました。

身体はずっと震えています。

多分血圧が低下している感じがします。
もともと低体温で35.2〜4度を行ったり来たりで、
心臓も不整脈が出ていてキュンと辛いのだ。

寒さのあまり、水は1滴 も飲めませーん。

食事も合宿所に行く前日は運悪く昼から食べていないし
合宿所に着いてからは、オニギリを1個しか食べてない。

でも、寒さの方があまりにも辛過ぎて、お腹がすいた感覚が無くなって
しまいました。

昨夜は木の下に立ちんぼうで雨宿りしていたので、徹夜だった。
眠いのよ〜。だから日中は、ゴツゴツ石を下にして爆睡しました。

目を覚ますと。
やっぱりこれは夢🔍ではなく現実なのだ。

お尻とお股が痛いよ〜。
お尻の下は尖った石がゴロゴロしていて〜、

お股が痛いのは、お股に樹🌿を挟んで寝ているからだ。

私の選んだ陣地が急な坂の為に、お股に樹を挟まないと、
寝ている間におっこちゃうのだ。

遠く下の方に、仲間が見える。

彼はここからいつ見ても、瞑想している。（偉いにゃ〜( )
彼は国土交通省のお役人だった。
奥さんと子供2人いるのに仕事をやめて、魔法学校に退職金をつぎ込んでいる。

相当な覚悟なんだろう。
だからあ〜やって、真面目にやっているんだよね。

そうこうしているうちに。、もう夕方です🕯

私は先輩が迎えに来ないなんてことは、**1ミリも、**疑っていませんでした。
なんで、夕方まで待たせるんやろ？

だども、だども。。。😰
夜8時ころになっても先輩は迎えには来ませんでした。

まさか、本気で今夜も野宿なの？

そうだったんです。
２日目の合宿も野宿だった・・・・・・・。

生唾ごっくん💧

私が寝ていると、変なものが私の顔の上を歩いている。
一度だけ感じたことが有る感覚。

この**足の長～い蜘蛛**を。
真っ暗だから何も見えないのですが、動きで奴の姿が判ります。
多分、毒蜘蛛だと察知しました。🕷

私は小学校5年生の時、放送部で毒蜘蛛に刺されてから、
アレルギー体質になってしまいました。

きっと、その時の蜘蛛の再来ではないかと、私は息をひそめました。
”毒蜘蛛が私の顔を通り過ぎるまで決して動かない”
私はそう決めました。

息も止めて、

「うっ！うぅぅぅ、くるちい」😰

なのに、なのに、

奴め、私の顎をしっかり刺していったのだ。

顎は、みるみるうちに腫れて、私の顎の3倍位の大きさになった。

掴むと小型のマウス位の大きさのコブがあるのじゃい。
このまま毒が、脳まで到達したらヤバいかも。

今こそ、**靈氣師範**の腕の見せ所。
（でも、ここは、一人ぼっち 誰も、見てね～んだよ～）

かつて、私はこんなに集中して靈氣をしたことが有りませんでした。

必死こけば出来るじゃんね～。

2時間くらい真剣に手当てをしましたところ、
パンパンに腫れていた顎が、少し緩みが出てきたようです。
これで峠は越えたようです。

鏡があったら、心が憂いて、却って治る気力も失せたかもしれないが、
今回の場合は、鏡が無くてよかったぜぃ。

間違いなく、アントニオ猪木君だもんね。

「1.2.3.ダー!」

顎の方の峠は越えたけれど。。。

「🎶今夜も私は忍び雨🎶」

↑演歌のタイトルじゃないけれど、雨が降って参りやした。

今日もかよ。勘弁してくれや🤦

また、樹の下につま先で立ちます。
今日は、昨日の雨よりは強いです。

しばらくすると、樹の下でも身体は濡れてしまった。
副校長の命令を聞いて、あの時、傘を手放した自分が恨めしい。

こうなったら霊能力を使うしかない。

「頼もう〜〜。おてんとうさんの親戚さん！お静まりやす💗」

すると、雨はピタリと止んだ・・。

幼稚園の頃、晴天の日にベランダで、
雨乞いをしたことが有る。

あの時と正反対のお願いだけど・・・、今回も同じことが起きたわぃ。

偶然か？？

この際、そんなのどっちでもいいのじゃ。

すまぬ、かたじけない！

っと、私は、形が有るようで無いものにお礼をいった。

黒田官兵衛になった気分っす。

私、官兵衛さまのファンです。

そして、野宿3日目の朝日が昇った。

私は3日間で、お水を200CCしか飲んでいない。

「はーはー、ゼィゼィ・・・くるちいっす」

脱水症状になると分かっていても、寒くてこれ以上、体を冷やす事は出来なかった。

お腹も空かないし、喉も乾かない。
オシッコもうんこも出やせん。

ただ私は寒いのだ～

すると、
先輩が、様子を見に来た。

先輩：「豊岡さん、身体の調子はどうですか？」

私：「寒さのあまり、心臓の動機がどんどん酷くなっています。心臓の近くが痛くて苦しいです。」

先輩：「残念だけれど、何にもしてあげれないの。

今回のチャレンジを断念する意外は方法はないのよ。どうする？」

私：「このまま冷えると、私は心臓の病気も持っているし、もうギリギリな気がします。
また今夜も雨が降るかもしれない。その時はどうなっているか、微妙です」

先輩：「副校長に相談してきます」

その後に、**副校長がやって来た。**

みかん5キロが入る段ボールを持って来てくれた。

副校長：「これで雨風をしのぎなさい。3日頑張って来たのだから・・・もう少し。」

お～～～～～、段ボールだ。

お～～～～～～、神よ。

助けてくれてあんがと。。。

神ちんに、お慈悲を戴けたでやんす
段ボールは、本当にありがたい。

小学校5年生の反抗期時代。
こんなことがあった。

何だか知らないけれど、意味もなく母親に怒られたくて、わざわざ嫌がらせをして、

自分で自分を怒らせて、家出をしたこ
とがあったっけ

あの時は、お金も行くあても無く、最期は庭にスノコを敷いて寝たんだったなぁ。
晩秋の頃で、夜はめっちゃ寒かった。

そのとき、古新聞と段ボールを見つけて身体中に巻いて寝たものだ。

結局、夜中の12時過ぎたら、辛くて断念して玄関をガラガラっとあけて入って、
母親の寝姿を確認しながら自分の部屋に戻ったのである。

今、思うと母親はきっと寝てはいなかったと思う。

自分で何に腹を立てているのか分からない若かりし頃のわたし。

あの時は小学校5年生

今は中年生

今の私の姿は、毒蜘蛛に顎を刺されてアントニオ猪木状態。
配給されたトイレットペーパーでグルグル巻きミイラになっております。
それプラス、段ボールをかぶっておりまする。

ハロウィンの一人仮装プレイを楽しんでいる訳じゃないですよ！
私、必死で何とか生きているのじゃ〜。

中年になって同じことをやっている私が、面白過ぎる

魔法学校合宿は**3日目の夜も雨模様。**

湖の近くは、夜中になると雨が降るの？
と法則に感じるほど、3日間連続雨になった。

地面が濡れているから、座ることはできない。
立つか、かがむしかないのが辛いところです。

みたまんまのスタイルです

今夜は副校長からお慈悲で戴いたありがたい段ボールがあるのだ。

日中は、段ボールを体に巻いて、風よけが出来たわ
夜はこうやって、雨をしのいでいる。
段ボールは雨でクタクタになりかけていた。

もう限界かな？
・・・・・・・・・・・。

とうとう4日目の朝がやって来た。

まさか！
今日は最終日。
副校長のお迎えは時間は、きっと朝に決まっていると思っていたら、

またもや魔法学校は期待を裏切らない。

迎えに来たのは、午後3時を回っていた。

野宿や断食期間も、すでにまるまる4日⌚は過ぎていた。

4日も経つと、精神状態はきゃぴきゃぴしていない。

どっしりと腹が据わった感じがする。精神が静かになっている。
「何が起きても大丈夫！」。。みたいな。

西に陽が動き出した頃、副校長のお迎えが来た。

つまり下山しても良いという意味だ。
新米サードステップのメンバーは、
おのおのが、おのおのの場所から現れて下山をし始めた。

この時、魔法学校のサードステップってやはり只者ではないなぁと、感じたのでした。
これだけのインパクトのある経験をした＝いいえ、させられたのにも関わらず、
4日ぶりに仲間と対面した時には、微笑んで会釈しただけだった。

誰ひとり愚痴や文句や、苦痛を訴えるものはいないのだ。

だだ、**起きたことを受け入れている。**
起きたことに各々が最大限の力を発揮し、
責任をとる覚悟がある人が集められていると思う。

下山の途中で、ある女性が副校長から「失格である」ことを伝えられた。

その理由は、1日目の初めに自分たちの陣地を決めた後、
半径5メートル以上は、決して動いてはいけないと言う決まりを違反したそうだ。
彼女は、自分の陣地が決まってから動いてしまったらしい。

それは、近くにいる仲間に何かを親切に伝えに行ったとのことで、
事実は仲間を思っての行動だった。

初日の最も早い時間に既に失格が決まっていたのに、
この試練を4日も経験させられた挙句に、いまさら失格なんで・・・�

なんて気の毒なんだろうと、私は本当に同情した。

でも、彼女はその采配に対して、全く愚痴も自分を責める言葉も言わなかった。
「そうでしたか。わかりました・・」

っと、言葉を残しただけだったのです。

私は、本当に感動しました。
自分のした行動にきちんと責任をもち、起きることに対処し、
今出来る事は何か！と考え、即行動する。

こういう姿勢が身についているのだと思いました。
私が同じ立場だったらどうだったでしょうか。
彼女の様に出来ただろうか？

今回の様な想定外の体験をすると、物事に対して、
良いも悪いもないんだなぁと、素直に思えてくる。。

さ〜〜て、下山をして、これから
お風呂♨に入れると思いきや、

私達はある場所に連れて行かれた。
サードステップに昇級するための第一関門・野宿合宿からようやく解放されて、
お風呂とご飯にありつけると思っていたら〜、・・・ランランラン。

ちっちっち！

この世界は、そんなに甘くないっす。

魔法学校は、ドンデン返しのシナリオを観せるには事欠かないのだ。

サービスたっぷりで、期待を裏切りましぇ～ん

実は、この先の行程をブログに書くかどうか、迷いに迷った私です。
野宿合宿の話だけでも、読者の皆さんには十分メッセージが伝わっているかと・・。

これでシリーズの幕を閉じるのも有りだよなぁって・・・思っています。

私が「迷う理由」というは・・、
これから先のフィルムは魔法学校の秘儀でありますから、
公開する事によって、魔法学校側に迷惑や影響があるかもしれないと、
色々と考えました。

「秘儀は秘儀なのだから、口を割ってはならぬのじゃ！」という私と、

「でも、まてよ。。」

今はどんどん秘密がディスクローズされていく時代に移り変わって来ている。

「公開してシェアする方向に宇宙は動いているのだ！」と、
日々感じているのです。

だから分かっている人には分かって貰えばと思い書くことにしました。

では話は戻って～と、
私たちは山から下りて、次の場所に連行されたのだった。

（囚人じゃないんだけど、今となったら似た様なものだわ）

私たちが連れて行かれた場所は広い空き地でした。

先輩達が、何やらすっごいことをしています🔍

直径２メートル半ほどの幅と、
確実に私の背丈をゆうに越える深さの穴を掘っているのです。

タオルを首に巻いて、ヒーヒー言いながら、数人で穴を掘っています。

ブルドーザーとかは使っていませんよ。

シャベルでエッサラオッサラと。
先輩は先輩で、ご苦労しているんだなぁ。
（明日は我が身・・オーこわぃ💀）

穴掘りの丁度最後の仕上げの頃、新米の私たちが、ここに呼ばれたのです。

ドキッ！！嫌な予感

どうやらその穴に、

「飛び込む＝落ちろ！」

と言う儀式が待っていたのでした。

「落　ち　ろ　！」

という先輩の合図があり、

「そうなのね　あんさん、わちきに死ね！
ちゅうことなのね～」

と、説明されなくても、暗黙の了解で存じておりました。

御慈悲だから、最後に身支度を綺麗にさせてくだせ～。
4日もお風呂に入ってないから、お股が臭～～くて、（ゴホゴホ）
死ぬにも死にきれません。

な～んて、たわごとを聞いてくれないのが、
くそ～、魔法学校のおきて。

はいはい、解りました。死なせて頂きますわい

せ～～の。。

ズルッ！ドシ～～～ン！

し～～～～～～ん

深い穴に落っこちた。
そのあと、、、私は。。。
一度・・・。。死にました。

南無～、ち～～～ん

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

いえいえ、本格的に**死ぬ**のはこれからです。

穴に飛び降りて、バーチャルの死の淵を体験した私は、
そのまま**ご臨終の儀式**をしました。

この死の儀式が、なかなかシャレて？（はぁ？）おります。

いえいえ、ドしゃれて（土砂れて）いるのだ〜。

そうです、上から土がバッサバッサと落ちてくるのです。

きゃ〜〜、

生き埋め の儀式で・し・た。

これ、本当なんです。

でも、そこにはお約束がありまして、一応ビニールシートが上から降ってきて、
その上に重〜い土を掛けられて生き埋めになったのでした。

あの感覚、何とも言えません。

エステの泥パックとは大違い

・・なのは当たり前ですが・・。

顔を手でふさいで、何とか呼吸を確保します。

ううっ！

とは言っても、生き埋めは２分くらいの、（ハ～ハ～）儀式でした。

要するに、サードステップになる為の第2の関門は、

「一度死んで再生する」

のが目的の様です。

ちゅうことは、**第一の関門の４日間放置プレー野宿**は、
どういう意味があったのでしょうか？

魔法学校は、いつも答えをくれません。
自分の中にある答えを探すしかないのです。

ですから各々に見合った答えが必ず見付かるはずなのです。

この答えについては、最終章で①お答えするか、
それとも②皆さんでシェアするか、③何も触れないで終わりにするか、
それはまだ決まっていません。

しかし、この「死の儀式」は、**４日間放置プレー野宿**があったからこそ
その意味が活きてきます。

「死の儀式」は何とも言えない位に、**神聖な儀式**✨でした。

サードステップの先輩たちのあの真剣な眼差し👀を見ていたら、
なおさら、その神聖さを受け取らざるを得ないのです。

社会的な観念で言ったら、
これらの行為はただのバカ話であり、
お遊び以外の何物でも無いのですが、

その奥にある、見えない領域の深い意味を、
確かに私は受け取りました。

私は何のために魔法学校に行きたかったのだろう❓

魔法の力を手に入れたかったから？

見えないものが見える能力を得て、自分が凄いと思いたかったし、
思われたかったから？

それとも、この見えないものに
対する不信感を暴きたかったから？

そう思う気持ちが無かった訳ではない。
確かにあった。

でも、すこし違うのです。

もっと深い領域での何かが私を後押ししていたはずだ。

懐かしい何かが私の背中を叩いたから、

今ここにいる。

儀式を終えて、そんな境地になってきました。

さぁ、ご飯です。お風呂🍚です。
やっとです。

・・・のあとに、まだ**第３関門の儀式**が待っていました。🙏

「死と再生の儀式」を終えて、今度こそ４日ぶりのご飯です。

私は運悪く、前日も昼から食事を食べそこねていたので、
５日ぶりのご飯にありつけるのだ～。

🎎「ウヒヒのヒ！とくりゃ、サノサッサ！！へへ～ぃ、てやんでぃ！やったね！」
っと、一気に江戸っ子気質でモチベーションは上がるぜぃ。

お風呂っ！お風呂っ!

ご飯とお風呂は、どっちが先かな？ランランラン🎶

あっ！お風呂🍚が先でした。やっとです。

健康ランドみたいなところに誘導され、お風呂に入りました。

あ～、シビレルわ～。

お水様💧、いつもありがとう💗

と、何に対しても感謝が言えてるわたし。
だいぶ腹の脂肪が減ったわい。
お陰様、お陰様。

坊さんのMちゃんは、いつも肉やお寿司や豪華な懐石料理、
油物を食べまくり、かなりのおデブです。

腹もほっぺもマルマルしているけど、あっ！お腹が凹んでおるわ

さて、お次はご飯ね。

もう、夕飯の時間帯になっとる。

て～～～～！

私は出てきた夕飯をみて首を傾げた。

え～～～、

こんなの食べちゃっていいの？

４日以上、水しか飲んでないのに出てきた食事の殆どが、油物。
鳥の唐揚げやワカサギのフライです。
粗く切ったキャベツに。。。

要するに消化の良いものは、何一つありません。

断食した後は、ゆっくり消化のいいお粥とか、スープとか飲むものじゃないの？

でも、、、、、、

ここで食べそこねたら最後、背に腹は代えられない。
ムシャムシャ

ぜ～んぶ・たいらげました。

何でこんなに元気なんやろか？

よくよく考えると、今回の合宿代は３泊４日で魔法学校にしちゃぁ、安かったのだ。
確か、４～５万円くらいだった。

うっかり甘い考えを起こした私は、サードステップに昇級したお祝いで、
「かなり破格値でパーティーしてくれはるわ👍」

な～んちゅう考えは、今となってはとんでもないアホやった事に気づいた。
ホテルなんて初めからとっていなかったのだ。

ちゅうことは、📝

一日目に貰ったおにぎり１個。
トイレットペーパー２巻き。
２ℓのお水を２本。
それと、この身体に悪そうな、
健康ランドの夕飯とお風呂代。
行き帰りのバス代。

チャリ～ん💰
なんじゃコリャ❗❓

も～、いつものことだから考えるのは、悔しいからや～～めた。

さぁそうこうしていると、**第３関門の儀式**が待ちうけていました。🙌

え～～、まだあんの🙈

と、ホッとしたところでやっぱり、そうはイカない・魔法学校。

バンバンバン💥
逃げる奴は、逮捕するのだ🎉

最後の最後まで期待を裏切らないじゃん。
（コレデ・イイノダ）

さらにコレでは終わらず、オマケの**サードステップ昇級試験、**
第３関門の儀式が待ちうけていました。🙌

いえいえ、オマケなんちゅうものではないざんす。

よくよく考えてみると、
1. 第一関門は、震える様な寒さとひもじさを味わった野宿生活の４日間。
2. 第二関門は、背丈以上有る穴に落ち、そこに横たわり土をかけられて死ぬ儀式。

それらはつまり、
①自分のエゴを見せられ、そして手放し、
②人間の証拠となるはずの肉体を失い、
また再生するプロセスを疑似体験した訳です。

私たちは、エゴや執着や恐れの狭間に日々さらされている中で、

「オイラ達、

全てを失ったところで

こんなもんさ！」

って 、メッセージが・・聞こえた。
さらに、

結構💞楽チンよ！

あんさん達、早よ気づきなさいな～🧞‍♀️ ✨🧞‍♀️

・・言われている気がした。

何もなくなった先には、いったい何があるの？

そんな問いかけが、聞こえては来ませんか？

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

ところで皆さん、コレ　↓　見た事ありますか？

「プルパ」っていうものです。
（下にある黄色いのはただの蛍光ペンですよ）

質問で～す：
「プルパは、何をするものなん？」

それはね、場の浄化・結界を作る際にネガティブなエネルギーを突き刺し、
魔を祓う象徴として使います。

チベットで砂曼荼羅を作る際には、地中にプルパを埋めて
魔除けの結界を張るそうです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

何故、プルパの説明をしたかと言いますと、

私たち魔法学校に属する者たちは、神殿ワークや、ヒーリングや、
浄化、プロテクト、チャネリングなどの
（これら、何を言っているか言葉が分からない方は、
そのまま気にせずにスルーしてくださいまし）
ツールとして、プルパは必須。

絶対に欠かせない聖なる道具だと教え込まれているのです。

プルパは命を守る尊いものであり、肌身離さずに神聖に扱うように学んで来ました。
私は割と不真面目な生徒なので、荷物が重いのを好まないから、
普段は持ち歩いてはいません。

魔法学校のトレーニングの時だけしか持ってこないです。

そんな私でも、トレーニングの時に、プルパがないとヤバいNGと思っていました。

さて、**断食の後に、ジャンキーな食事**を振る舞われたのに、
食べちゃった私たちが連れて行かれた行き先は・・・・。

湖のほとりだった。夕陽が沈みかけた静かな湖です。

昨日の今頃は・・・、
あ〜、思い出すのもビビるんば🧑‍🦲の私。

湖には、プルパだけを持ってくるようにと指示があった。
今までの経験によると、ここではきっと短くて１時間ほどの、
※リチュアルをやる流れでしょう。

※仏教で言ったら、木魚を叩きお経を立ちながらあげるバージョンの様なものです。

この体力の消耗した身体で「またリチュアルか〜🤯」
と思っていたら、やっと、校長先生のお出ましでした。

校長は、英語であ〜たらこ〜たら話した後に、妙な合図をした。

マ・マ・マ・

マジですか 💔

私たちリチュアルマスターにとって、リチュアルをやる上で、
絶対に手放してはヤバいと言われて来た、

大切な**プルパを湖に捨てろ**

と校長は促しているのです。

校長は、いつも冗談を言ったりして、私たちを**コケ**🤦にしている人なので、
当然コレも冗談だと思って、誰ひとりも指示に従いません。

そんな事が有ろうはずが無いと信じているからです。

命の次に大事だとされているプルパを捨てるという事は、
あれ〜〜どうなるんじゃい？？？

しかし、校長は真剣な目になっている。

きっと、正直に捨てた奴は、後でいちゃもんを付けて責められるのではないかと、
みんながみんなの行動を様子見だ。

でも、それは事実だった。

校長先生の指示の意図が誰も訳が分からないと思いつつ、
みんなで、心の中で

「せ〜の」 で、

一斉に湖にプルパを投げ捨てた。

「きっと、すぐに拾いにいくんやろ。とりあえず、儀式だから・・ね！」

と、私たちは、ソレを疑わなかった。

それほどまで、プルパの大切さを何年も教えられ続け、
それを実感し守って来た私たちだ。

でも、そのプルパの教えも、今となったら幻に消えた。

私たちは直ぐさま湖から去るように言われ、そのままバスに乗って東京に向かった。

「ありえへん。プルパを拾わないんっすか？」

何が起きたか混乱している私たちは、キツネに化かされた様なまま、
心にポッカリ穴が空いている・・。

あんなに大切にしていた、プルパ。。。。
どこかでビビっております。

これで、正しいんやろか？

間違っているとか正しいとか、ちゃうねんな〜。
隣で坊さんのMちゃんが半べそ顔😥で嘆いている。

サードステップになったお祝いとして、
合宿に来る前に高価なプルパを奴は新調していたのだ。

なるほど、金持ち💰ならでの行動じゃん。

それが、裏目に出て、Mちゃんはガッカリしとる。

でも坊さんは、葬式が入ったらあっという間にお金持ちになるから、
私はそれほど同情しないわん。

すまねぇ、Mちゃん 🙇・・・・・・・・・・・・・。。

帰りのバスに乗り、一瞬、自分がどこにいてどこに帰るのか分からなくなりました。

この、４日間のストーリーは一体なんやったんやろ？

(狐につままれた感のままのわたし)

これで魔法学校サードステップ昇級合宿のお話は 、幕を閉じます。

終章 魔法学校に行った理由

魔法学校のお話が、こんなに長いシリーズになるとは思ってもみなかったけれど、
みなさん、一緒に時間を共有してくれてありがとう。

しかし、ここで書いたものは事実を事実として書いたまでのことで、
大事な事は、この体験から

どんなメッセージを受け取り、

何を学んだのか！

コレが大きな鍵となるのです。

私は魔法学校の批判を面白おかしくオチャラけて書いたのでしょうか？
それは、全く違います❗

魔法学校シリーズ、そもそもなにがきっかけで書いたんやろか？

魔法学校で学んだ５年間のサイキックなツールやテクニックは、
７年くらい前から封印してしまった。

ですから、ブログで公開する理由が私には全く見当たらなかったのです。

２年半前に「こんまり流お片付け」を
（ブログ↑に書いてます）
お仕事にしているまきちゃんと出会って、
魔法学校のテキストやツールを捨てるための介添え人になってもらいました。

魔法学校で買った、高額なツールのあれこれが勿体なくて片づけられない

特に秘儀が書かれたものをどうやって捨てたらいいものなのか、
迷いながら、７年もの月日が経ってしまいました。

捨ててしまった過去の物をいつまでも置いておくのは、エネルギー的に重いし、
スペースが勿体ないと判断した私は、スッキリさっぱり、こんまり流お片付けで
捨ててしまったのです。

そうなんです。キッパリ、かっこよく捨てました。

え～～～～ん。嘘つきました。

ちっとだけ、残してあります。

キッパリさっぱり、ゴミ袋に入れて**ベランダ**にちゃ～んと・・・suteta

ゴミと化した魔法学校のツールは３袋ほど有ったと思います。

５年間分のセミナーの資料やイニシエーションに必要な、

ベル、聖杯、バカでかいキャンドル、剣、テコンドーのナンタラとか、
グローブ、真っ白なローブや服。
プロテクト用ペンダントや石、五芒星が書かれた敷物　など等。
映画ハリーポッターみたいなものばかり

魔法学校で揃えたそれらの物は、一つ一つが値段が高く、
全部ひっくるめると、どれくらいの金額になるでしょうか？

考えると辛くなるから、無視します（はい）

でも物はまだ良いんですよね。
また買えば良いから。

５年も学んだ資料を手放すのは、特に秘儀だけに悲しいです。

パートナーとの別れなんかも情があればあるほど、
また、長く一緒に居た人ほど悲しいものじゃ～ないですか？

それと、同じ感覚。

ゴミの回収車が来る日までにベランダに放置されたゴミ袋に、

雨がシッポリかかっています。
あ～～、みすぼらしくなっとる

燃えないゴミの日は１か月に２回しかないから、
毎日、日照りとか雨とかでショボクなっていく過去の財産を横目で見ちゃいます。

お〜〜〜執着の嵐が、ぞぞぞ、っと私を襲う。

「そもそも何で捨てることにしたんだっけ？」

と**誘惑の声**🎶が聞こえてくるのら〜。

こんな風に心の声とやり取りを何度となく繰り返し、

もう勘弁しておくれやす。

今まで私の部屋のスペースを占拠してきた、このゴミ3兄弟め🤡

お片付けを手伝ってくれたまきちゃんの手前、断じて後戻りしましぇ〜〜ん。
と、我慢比べをしてからもう１週間経ってしまった。

でも、私のおきてを破って、ゴミ袋からズル出しをしたものは、

魔法学校で一番最初に学んだ秘儀だった。
セミナーで言ったら初級みたいなものです。

でも、私はこの最初の教えに魅力を感じたからこそ、私はここまでやってこれたのだ。

今思うと最初の教えに魔法学校の全てのエッセンスが網羅されていたのだ。

だから、その後に学んだものは、ほとんど補足みたいなものだと気づいたのです。

ってな感じで一句🧜

「捨ててみて 初めて気づく 魔法の声」

１冊だけは手元に残し、あとのモノ達は、

「ありがとう💗」と声をかけて、お別れしました ✧

（おしまい）

【魔法学校シリーズ・いったん終わりましたが、追加があります】

私は以前から迷っていました

魔法学校シリーズのブログを書くことを。。

でも掲載して分かった事は、

皆さんから最も共感して頂けたブログだった訳です。

迷った分だけ思い入れが深かったのだ。

では**何に迷ってたか**というと、
魔法学校シリーズの場合、

今も存在している学校なので、書いたことが悪口に聞こえたり、

学校のイメージを悪くしてしまうと、営業妨害になるとも思いました。

名前はあえて魔法学校としましたが、学校名は他にあります。
知る人ぞ知るところです。

もう一つ迷いがあったのは、
サードステップになった時の合宿の話です。

サードステップとは魔法学校の階級みたいなものです。

魔法学校のお勉強は、もともと秘儀と言われています。

その中でもイニシエーションとか神殿ワークは、秘儀中の秘儀であり、
特にサードステップの合宿話なんぞは、その内の最たるものだ。

秘儀は決して公開すべきものではないとされていますから、

これを喋っちゃうと反則じゃないかと思い、

墓場じゃぞ〜〜〜。。

ずっと墓場まで持って行くつもりでいたんですね。

でも、もう既に席を抜いちゃったしなー、
辞めて8年も経っているしなー。

そうは言っても、

反則をひるがえしてまでブログで公開する程のモチベーションも湧かないもので、
そのまま放置していました。

イテテ、イテテ。放置しないでわん

ちまたでは質が良いとは思えないスピリュアル商戦や思い込みにハマり、

心の平和とは反対の方向へ行ってしまっている人は後を絶ちません。

それはそれでその人の学びなのかもしれないし、

かつて私も自分の痛い体験でもって沢山の気づきを得た訳なのですから、
偉そうな事は言えないのだ。

ただ、このブログを見てこんな見方もあるのかな〜、

って、思ってくれたら良いかもしれないと書き始めたのね。

そのきっかけは、魔法学校に通い始めたばかりの人と
あるセミナーで偶然会って、

彼女の話をちょこっと聞いた時に、
また迷い子がここにも一人増えているなぁと単純に思った訳です。

この時、
「私はもう封印を解いてもいいんだな」

って何かが込み上げて来たのを素直に受け止めてたわ。

で〜、吹っ切れちゃいました。
そしてブログを書いたら、思わぬ反響で驚きました。

スピリチュアルは全然悪いんじゃないんです。

だって、そんなこと言ったら、

私のセッションの基本は、
スピリチュアル的な考えなしには成り立ちませんので・・

ただね、スピリチュアル商戦にわざわざ乗らなくても、好きな事を信じて
一心にやるだけでも、十分スピリチュアルは勝手に開きますよ。

でもそう言ったって、やることがコツコツと地道すぎて、
やってる感、達成感、繋がっている感を私たちは疑うから、

スピリチュアルを教える人が出て来て、これが結構商売になるから、

だんだん純粋なスピリチュアルから逸脱してしまっている気がします。

話を戻すと、
魔法学校シリーズをブログを掲載して嬉しかったのは、
かつて魔法学校に通っていた方が、
私のブログを見つけて、セッションに来てくれた事です。

お陰で私はとっても癒されました。
そして、彼女が来てくれて本当に有り難かった。

なぜ癒されたかって？

彼女（クライアントさん）は長年生き辛い思いを手放したくて、
たくさんのセラピーを学んだり、受けてきた方です。

それでも救われなかったから、

最終手段として魔法学校を選び、通うようになった。

でもその結果、彼女に残ったのは
新たに出来た苦しみと、借金だったと話してくれました。

ググッ❗ケツでヘッドロックけ！

魔法学校の同輩たちも、そういう人が多かった様に思います。

彼女のセッションを進めて行く度に奇跡みたいな事が起こりました。
彼女の言葉をそのまま伝えるなら、

「ホント！あり得ないです。何なんですかこれって❗」…です。

彼女は後輩になりますが、私と同じ魔法学校の最終課程サードステップまで進んだ人です。

嫌ってほど、スピリュアルや秘技、心の問題を学んで来ました。

だからこそ、彼女の反応を聞いて、私は自分の今やっている事に

心底信頼していいんだなと太鼓判を押して貰えた気がしました。

「那旺さん、今まで私を悩ませていたあらゆる苦しみから、

一つ一つ手放して行けているのがよく分かります。

肩や、みぞおちの違和感が緩んで来ているんです。」

もちろん、彼女のタイミングが最高最善の時だったからです。

この声を聞いて、

魔法学校で、5年間の時間と1千万円以上
（後で冷静になって計算したら２千万円近くでした）ものお金を使った私達は
一体何を学んできたんだろうと改めて思い返します。

呆然と忘却の彼方を見つめるわたち

二人の結論は、

「日常では決して味わえない、クレイジーな経験を学べた」

はい、終わり。。です。。。

それが魔法学校の最大の教えなのかも知れません。

それにしても、対価が莫大だのぅ。

でも、**「二人とも後悔はしていない」**という点では合致しています。

嫌味じゃなくて、
人生は「本当にユニークで面白いものです。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

あとがき

長い間、「魔法学校シリーズ」ご覧くださってありがとうございました。

魔法学校を卒業してから数年月日が経ちます。

魔法学校では本当にビックリすることの連続でした。

実のところ私が体験した事は、ここに書けないことの方が断然多いのです。
でも、正直に思いを綴りましたし、
魔法学校のエッセンスだけは伝えられたかと思います。

魔法学校の見えない世界の魅力に引き込まれて行きつつ、
何と言っても世の中にはこんなに色んな種類の人間がいるんだなぁ・・
という驚きも、いやってほど体験しました。

そこで、私は問います。

「人間の本当の強さってなんだろう。。」

「自分にとってのサイキックって、どういうことを意味するのだろう？」

魔法学校が伝えようとしていることは、正解や不正解はありません。

そこで、何を得て何に気づいたかは人によって千差万別です。

でも、私は様々な苦しみから這い上がり、
今ようやっと、心の安住を得てその答えを得ることが出来ました。

ここまでの境地に至るには、魔法学校の体験が私に大きな影響を与えてくれた
ことは言うまでもありません。

今になって気づくこと・・・。

セッションをやっていて、クライアントさんの心の中に、

「今何が起こっているのか？このひとの本当の望みは何だろうか？」

という声がよく聞こえてくるのです。

それは、あなたの前世であり、過去であり、未来のあなたであり、
今この時のあなたであり、

何れにしても、あなたの**魂から湧き出る声がよくわかる**のです。

すべては、あなたを進化させ、気づかせ、覚醒させるための声だということが
分かるようになりました。

この洞察こそが、私が魔法学校に期待をかけていたことでした。
強く望んだ分だけ、努力した分だけ、私の血や肉となったのです。

私を支えてくださった方々（見えない存在ももちろん含めて）

心から感謝しています。

ありがとうございました

＜終わり＞